

Q 遠方にいる知人の助けを借りたい

パソコンの利用で困っています。簡単なことのようにですが、操作方法がよく分かりません。遠方に詳しい知り合いがいるので助けてもらいたいのですが、どうしたらよいでしょうか。

A Windowsには、遠隔地にあるパソコンの画面を共有して操作を行える「リモートアシスタンス」という機能があります。この機能を使うとインターネットを介して、相手を自分のパソコンに招待できます。リモートで画面を操作してもらうことができます。ただし、双方インターネットに接続していて、メールのやり取りができる状態でなければなりません。セキュリティの問題があるのでサポートされる側の操作はちょっと煩雑です。

サポートを受けるには、「msra」というプログラムで招待ファイルを作

り、相手にメールで送ります(図1～図3)。「電子メールを使用して招待を送信する」を使ってメールアプリを起動して送信する方法もありますが、GmailのようなWebメールに対応できないことや、メールアプリや設定などによりエラーになる可能性があり、ファイルを作って手動で送信の方が確実です。

受け取った招待ファイルを開くとパスワードを要求されるので、サポートされる人は電話などでパスワードを教えます(図4)。その後、サポートされる側は接続許可で「はい」ボタンを押します(図5)。これで、サポートされる側の画面がサポート

する側のパソコンに表示されるようになります。「制御の要求」メニューを使い、サポートされる側のデスクトップをマウスで操作できるようにします。このときもサポートされる側がダイアログの「はい」ボタンを押す必要があります。

これで、相手にデスクトップを操作してもらえるようになります。接続中はチャット機能が利用できます(図6)。リモートアシスタンス接続は、一回切ってしまうと最初からやり直しになるので、説明が全部終わるまでは双方ともリモートアシスタンスを終了させないようにします。

(塩田 紳二=テクニカルライター)

「リモートアシスタンス」機能の使い方

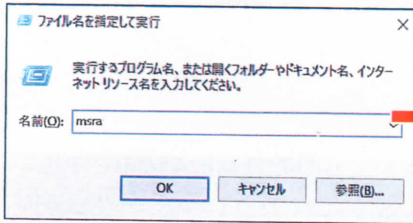


図1 [Windows]キーを押しながら[R]キーを押す。「ファイル名を指定して実行」の画面で「msra」と入力

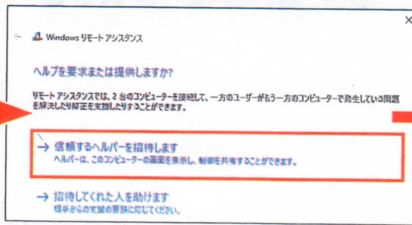


図2 「Windows リモートアシスタンス」が起動したら「信頼するヘルパーを招待します」をクリック

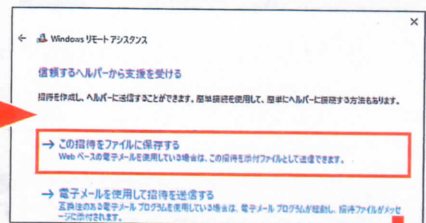


図3 「この招待をファイルに保存する」でファイルを保存し、サポートしてくれる人にメールで送信する

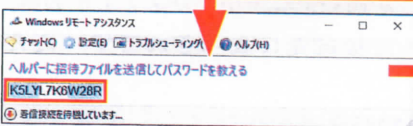


図4 Windows リモートアシスタンスのウィンドウにパスワードが表示された状態になるので、サポートしてくれる人に電話などでパスワードを教える

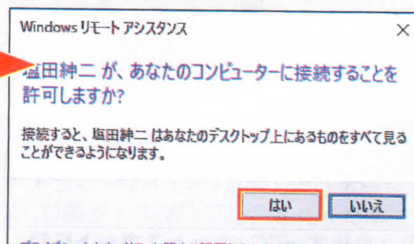


図5 接続の許可を求めるダイアログが表示されるので「はい」ボタンを押す

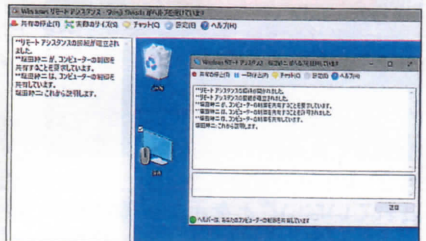


図6 「チャット」メニューを使うことで、テキストで相手と会話できる